

謹んで新春の寿ぎを申し上げます



富士山を臨む

昨年の1月に「絶景 富士山」を見るために三ツ峠山に登りました。この写真は、帰りに東名高速道路の富士川サービスエリアで撮影したものです。亡くなった父がよく「富士に登る阿呆に登らぬ阿呆」と言っていたのを思い出します。

(佐賀市 佐藤 直人)



発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
(大樹生命佐賀駅前ビル4F)
電話 0952(29)1933
FAX 0952(23)5218
HP <http://saga-doc.jp>
✉ hoken-i@star.saganet.ne.jp
購読料 1部 200円
送料込 年間2,400円
(会員の購読料は会費
に含まれています)

協会会員数
医科 651人
歯科 330人
合計 981人
(11月30日現在)

主な記事

- 新春隨想……………2~7面
- ・歯科研究会「歯科訪問診療における口腔機能精密検査の活用法」…7面
- ・医科・歯科 新規開業医講習会……………8面
- ・第32回保団連 九州ブロック地域医療交流会……………8面
- ・経営税務 「今年の確定申告での留意点」……………10面

日本はいつまで平和で
すごせるのだろうか



会長 藤戸好典



皆さま 新年おめでとうございます。
今年は辰年です。日本では辰年は政変の多い年と言われています。なんとなくそんな気配が漂う今日この頃と思いませんか。

何か素晴らしい良いことが起こりそうな、そんな希望を抱けるのが新年なのかなと思っていましたが、ロシアによるウクライナ侵略の長期化、イスラエルによるハマス壊滅と称するガザ侵攻、大雨による洪水や山火事、干ばつなどの自然災害、世界中から悲惨な報道ばかりの1年間でありました。今年こそは素晴らしい記憶に残る何かが起きてほしいと切に願わざるを得ません。

新型コロナウイルス感染症がかなり下火になつてきましたが、インフルエンザ感染症がまだまだ猛威を振るつております。昨年12月17日の日曜日から急激に厳しい寒さになり、暑い秋からの急変に体が順応する間

もない事態であります。新型コロナウイルス感染症の第9波が起ころないうようにはおられません。今年は診療報酬改定の年であります。医療法人である無床診療所の収益が一般企業と比べてかなり高いという恣意的な根拠を上げて、診療報酬のマイナス改定を強硬に迫る財務省でありますが、きちんと根拠のある公正なデータに基づいた改定を考慮すべきと思います。従業員の昇給

プラス改定が必要であります。地域住民のための医療・介護等の社会保障・福祉の充実改善運動とその地域医療介護を全力で担つておられる先生方・医療介護従事者の皆様方、経営・生活向上に向けて、今年の1年間も役員と事務局員が一丸となつて全力で多くの活動に取り組んでまいります。今年度も会員の皆様方のご理解ご協力を何卒よろしくお願いいたします。